

月刊 かわごえ環境ネット

2020
かわごえ環境ネット
20周年 持続可能な地球と川越へ→

2020年12月号 No.170

<https://kawagoekankyo.net>

2020年12月5日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

12月20日(日)「歳末まち美化活動」

「川越の自然(新訂版)」出版寄付のお願い

川越「歳末まち美化活動」
参加者募集

開催日 2020年12月20日(日) 小雨決行・荒天中止

かわごえ環境ネットの年間行事の一環として続けている「川越「歳末まち美化活動」を12月20日(日)に行います。本川越駅前交番と集まり、市内中心部をコースに分けてごみ拾いをして回り、中央公民館前やウエスタ川越で分別します。

この活動は感染症対策対応で実施いたします。
①マスクの着用
②参加者の体温測定の実施
③ソーシャルディスタンスの厳守
④アルコール消毒の実施

10:00 本川越駅前交番集合
11:30 中央公民館で分別作業
12:00 本川越駅前交番集合

この活動は感染症対策対応で実施いたします。
①マスクの着用
②参加者の体温測定の実施
③ソーシャルディスタンスの厳守
④アルコール消毒の実施

活動範囲
概ね点線枠内の主要道路を回ります

2020年歳末まち美化、今年もマスク着用で！

2020年12月号 No.170
主催 かわごえ環境ネット
事務局 川越市環境部環境政策課 ☎ 049-224-5866

1. 【(仮称)川越市森林公園】計画地

■計画地 大字野田(牛嶋町) 面積約10ha(約2000坪) 用途は「公園」(公園緑地) 種別は「公園」(公園緑地) 面積約10ha

川越で「武蔵野の自然を残す緑木林」の計画地が市域内にあり、その一部が本計画地です。緑木林は自然環境が豊かであり、市民の憩いの場として活用されています。本計画地は、緑木林の一部を保全・活用し、新たな公園として整備することを目指しています。本計画地は、緑木林の一部を保全・活用し、新たな公園として整備することを目指しています。

【(仮称)川越市森林公園】計画地概要
園内は3ha、2kmの散歩コースがあり、案内板やベンチも設置されています。中には清流が湧き出る水たまりもあり、自然環境が豊かです。本計画地は、緑木林の一部を保全・活用し、新たな公園として整備することを目指しています。

20 発行 川越市環境部 2020年12月号 No.170

「川越の自然(新訂版)」の体裁

かわごえ環境ネット設立20周年記念誌「川越の自然(新訂版)」の出版に向けて、1口1,000円から寄付を募集しています。1月15日(金)までに寄付された方は、本に名前を掲載いたします。本紙10-11ページに本の体裁や内容を紹介しています。

10:00 本川越駅前交番付近集合。コースに分かれて市内中心部をごみ拾いして回ります。参加申込は12月17日(木)まで。(詳細10面)

目次

コラム	かわごえ環境 STYLE (5) 川越の子ども食堂 地域の居場所作り2
	川越の自然をたずねて (92) 古谷湿地 唯一湿地と名のついた貴重な緑地帯3
	川越の「宝」をたずねて (18) 小江戸川越七福神 3-4
報告	かわごえ環境ネットの活動 (1題) 5-6
	会員の活動 (2題) 6-8
	理事会・専門委員会 (3題) 8-9
予告	かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事 (6題) 10-13
	会員・関係団体の主催・関連行事 (6題) 13-15
	広報委員会からのおしらせ 15
	イベントカレンダー (12月6日~1月27日) 16



【コラム】かわごえ環境STYLE (5) 川越の子ども食堂 地域の居場所作り



川越市鴨田にある Sow

川越各地で実施されている子ども食堂。以前のコラムでは、「川越子ども応援パントリー」のことを紹介しましたが、子ども食堂と合わせ川越の社会環境に一定の役割を果たしている動きです。今回は、川越で新たに子ども食堂を始めたお店を紹介します。埼玉医科大学総合医療センター並びで、県道川越上尾線沿いにある、「Craft Salon&Cafe Sow-創- (以下 Sow)」さん。

Sow では、ものづくり体験教室やキッチン体験教室、リフレッシュ教室などの他、カフェも営業している複合施設となっています。そして、地域の居場所作りとして実施しているのが「かもだ 子ども食堂(お店の住所の鴨田にちなんだ名称)」です。かもだ 子ども食堂は2020年9月からスタートしました。毎月第1水曜日、現在は予約制のお弁当形式(テイクアウト)で17:00~19:30に行っています。お店前の駐車場は子どもたちの駐輪場になります。できるだけ公共交通機関や徒歩での来店を推奨しています。SNS やホームページで告知・案内しています。中学生まで無料、高校生以上300円。対象としているのは貧困家庭に限定せず、オーナーの比嘉さんは「お子様からご年配の方まで、独りで食事をされる方はお気軽にお越しください」と話します。

比嘉さんが子ども食堂を始めるきっかけとなったのが、三芳町で子ども食堂を実施している「三芳おなかま子ども食堂プロジェクト」と縁を持ったことでした。活動の主旨に賛同し、自身がウェスタ川越で開催しているイベント「Art Made Garden」で三芳おなかま子ども食堂プロ



ある月の子ども食堂 提供お弁当

ジェクトと連携して子ども食堂を行うようになりました。イベントに合わせた実施でしたが、その後、川越市鴨田に店舗を構え、自店で子ども食堂を主体的に行っていこうと考えました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で当初の予定より遅れましたが、この9月からスタート。

子ども向けに限らず、地域の人の居場所として機能している子ども食堂になっています。

比嘉さんの考える子ども食堂では、「こしょく」を減らそうとしているのが特徴。孤食、個食、固食、小食、粉食、濃食。体の栄養のことも考え、バランスのとれた食事を作って提供しています。普段はカフェとして営業しているお店なので、プロの味です。さらに、食材は川越各地から川越産農産物の提供を受けていて、かわごえ環境ネット会員の「かわごえ里山イニシアチブ」のお米、増田副理事長のお米、「ウォームサポートシオン」の野菜を使用して、良い素材を使っているのも Sow の子ども食堂ならではの。

比嘉さんは「体の栄養はもちろん、心の栄養にもなる食事と、食事をみんなで囲める環境を提案していきます」と話します。

川越の新たな子ども食堂の場として今後の活躍が期待されます。

「Craft Salon&Cafe Sow-創-」

川越市鴨田 577-6

営業時間 10:00~16:00

定休日 水曜日

TEL 080-9851-8561

(石川真)

【コラム】川越の自然をたずねて (92) 古谷湿地 唯一湿地と名のついた貴重な緑地帯

湿地の中央を流れる麦生川



古谷湿地魚観察会



古谷樋管

古谷湿地は市内で唯一湿地と名の付いた貴重な緑地帯で、川越市古谷上にあるグリーンパークと国道16号線の間に挟まれた旧荒川廃川敷です。中央を荒川の旧河川である麦生川が流れ、すり鉢状の地形の全面積は約9万m²を要し、大雨時には洪水調整機能も果たします。

この湿地帯は、水路敷として2012（平成24）年4月30日に川越市が埼玉県より譲与を受けました。市は、生き物にとっても生育環境に適した良好な水辺環境が保たれていることから、この地域の環境保全に努めてきました。この湿地帯の周囲は高いフェンスで囲まれ、外部から侵入することはできません。唯一湿地帯に立ち入ることができるのは、例年市の主催で一般の家族を対象に実施される「古谷湿地さかな観察会」の時にだけ参加者が入ることが可能となります。

このイベントには、かわごえ環境ネット会員である「小畔川の自然を考える会」のメンバーが毎回協力して魚取りの指導や、水生生物等の講義を行っています。今年は10月31日に14名の参加者を得て実施されました。それぞれの家

族がタモや刺し網の魚網を持ち、魚取りに励んだ結果、モツゴ、ウグイ、タイリクバラタナゴ、カマツカ、オイカワ、ゲンゴロウブナ、トウヨシノボリ、メダカ、スジエビ、ヌマエビ、ヌカエビ、ドブガイ、マルタニシ、ハグロトンボのヤゴ、と多種類の水生生物を採捕することができました。

この外部の進入から守られている湿地帯は、生き物にとっての聖域（サンクチュアリ）となっており、季節によって、モズ、カワセミ、エナガ、アオサギ、コサギ、カワウ等色々な鳥類の姿を見ることができます。植生は、すり鉢状に囲む上部地域にはエノキ、ムクノキ等の高木、秋にはススキ、カラスウリ等の山野に生える植物が、下部には水辺を好むヤナギ類や、オギ、ミゾソバ等が繁茂します。年々、山野に普通に生える植物の増加が目立ち、水辺の植物が減少してきているように感じます。この湿地帯でも乾燥化は確実に進んでいるようです。中央を流れる麦生川は、最終的に河川の出水状況を調整する水門「古谷樋管」を経て、荒川と入間川の合流近くの入間川に合流します。（池田雄二）

【コラム】川越の「宝」をたずねて (18) 小江戸川越七福神

コラム「川越の「宝」をたずねて」は、かわごえカフェ2019のテーマ、「川越（と周辺地域）の宝を掘りおこそう」で参加者のみなさんと作成した「川越のお宝マップ」の地点を紹介していくコラムです。

今月のお宝紹介は「小江戸川越七福神」

七福神が信仰されるようになったのは、室町末期～江戸初期というのが通説とされています。

寛政11年（1799）に山本信有によって書かれた「七福神考」には「その始まりはわからないが、数百年前からすでにあつた」と記されています。なぜ「七福」なのかは、仁王護国般若波羅蜜經受持品に説かれた「七難即滅七福即生」が由来と言われていて、江戸後期になると七福神参りが流行するようになり「享和雑記」には七福神とは、弁財天、毘沙門天、寿老人、恵比寿天、

大国天、布袋尊、福禄神と書かれていることからその七福神の顔ぶれや風習がその頃には定着しそれが今に続いています。

七福神は、仏教、道教、神道というそれぞれの神をひとまとめにしているのを不思議に思いますが、七福神参りが定着した江戸期の日本人に、とらわれないおおらかさを感じます。この受容するおおらかさは、豊かな自然と共生していることからきているのでは、と想像したくなります。

さて、小江戸川越でもこの七福神を巡る参拝コースが人気です。妙善寺（毘沙門天）・天然寺（寿老人）・喜多院（大黒天）・成田山（恵比寿天）・蓮馨寺（福禄寿神）・見立寺（布袋尊）・妙昌寺（弁財天）。小江戸川越の七福神を巡る全行程は6kmほどで、東武東上線・川越駅や川越市駅、JR川越線・川越駅、西武新宿線・本川越駅

を起点に徒歩でも半日ほどで巡ることができます。

小江戸川越七福神めぐりは、川越駅出発ルートの他にも川越市駅・本川越駅出発ルートもあります。詳細は小江戸川越七福神霊場会のホームページ <http://www.kawagoe.com/7fukujin/> をご覧ください。

（飯島希）



小江戸川越七福神霊場会 Web サイト



川越の「宝」全データのKMLファイル（ダウンロード）



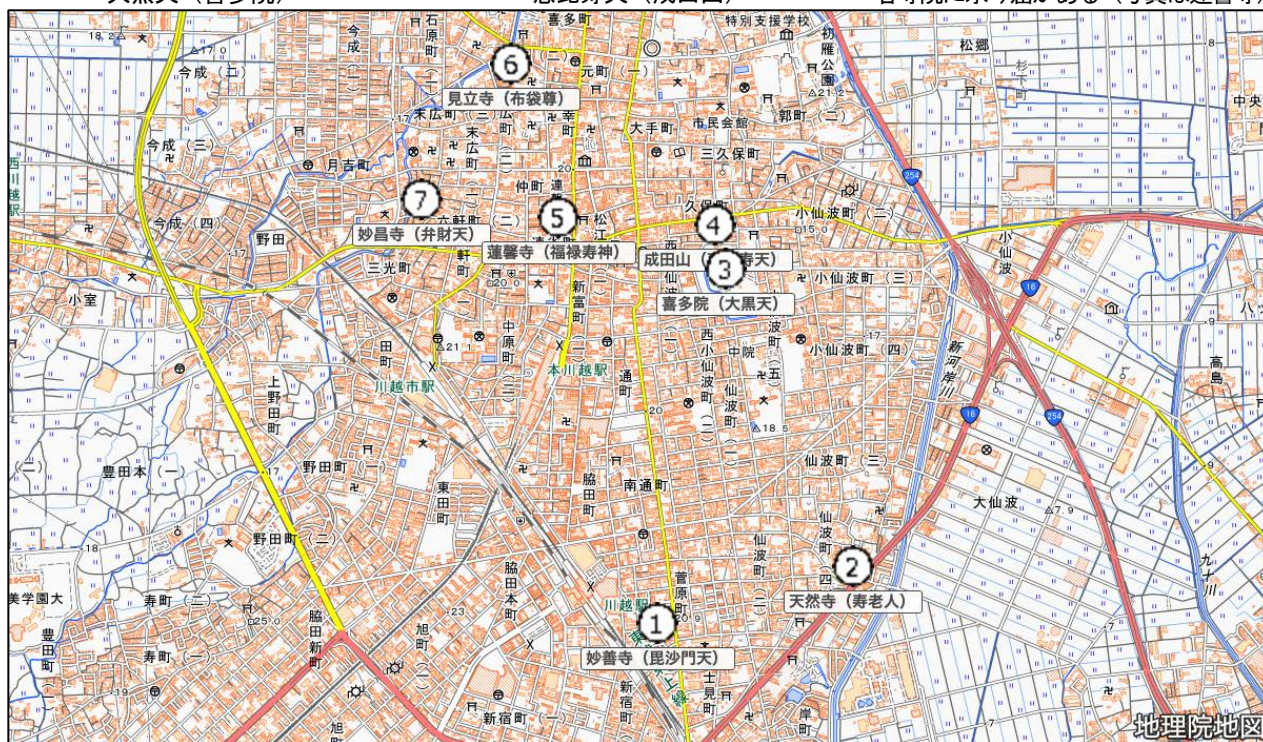
大黒天（喜多院）



恵比寿天（成田山）



各寺院に水琴窟がある（写真は蓮馨寺）



川越七福神の川越の「宝」マップ（国土院の電子地形図（タイル）に地点を追記して掲載）

【報告】かわごえ環境ネットの活動

環境講演会「プラスチックごみはなぜ減らないのか～リサイクルと減量方法～」社会環境部会



講師の浅倉孝郎先生



リサイクルの説明



講演会場の様子

11月7日（土）に社会環境部会主催の環境講演会を、ウエスタ川越の活動室1にて開催し、42名（川越市環境政策課4名を含む）の参加者がありました。

今回の講演会では、新型コロナウイルス感染対策（検温・アルコール消毒・マスク着用・席の間隔確保）に十分注意を行ったことに加え、聴講者の数を制限するとの意味合いから YouTube を利用したオンライン講演の同時配信も行いました。

昨年6月に大阪市で開かれたG20サミットでも、首脳宣言に2050年までに新たな海洋プラスチック汚染をゼロにすることをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が明記されました。こうした海洋マイクロプラスチックに含まれる化学物質は、食物連鎖によって人間に戻ってくる可能性も懸念されます。日本でも、海洋プラスチック汚染防止のため、廃プラ削減の一環としてレジ袋の有料化が7月1日より始まりました。

一方、新型コロナウイルス感染対策として、テイクアウトやデリバリー利用の推奨により、プラスチックごみが増大しているという新たな課題も出てきています。こうした環境下で、プラスチックごみ等を削減するには、我々は何をすべきか、具体的にどのように行動したらよいのかを学ぶべく、埼玉県環境アドバイザーの浅倉孝郎氏に「プラスチックごみはなぜ減らないのか ～リサイクルと減量方法～」と題する講演をお願いしました。

浅倉先生の講演では、①出身地宮代町の自然環境の話、②ごみ問題とは（一般廃棄物・処分場・焼却によるCO₂発生・処理費用等の問題）、③ごみ優良市町の例（全国リデュース・リサイクルランキング）、④プラスチックごみ問題（容器包装リサイクル法・再利用）、⑤海洋プラスチック汚染（マイクロプラスチック食物連鎖問題）、⑥ごみ減量の手段（予防原則）、⑦川越市のごみ減量（ゼロウェイスト宣言・SDGs 未来都市をめざす）についてクイズも交えてわかりやすく説明されました。また、浅倉先生の講演の中で特に下記の点が印象に残りました。

- ・世界で焼却炉が最も多い国が日本（全国で1189か所、世界の2/3、米国の5倍も）
- ・ごみを燃やすことで、CO₂排出量の増加につながる。
- ・日本全体で一般廃棄物の処理費用が2兆9百億円。
- ・再利用をさらに進めるために3R プラス Repair（修理）を促進しましょう。
- ・川越市でも「ゼロウェイスト宣言」して、ごみ減量に取り組めば、全国リデュース・リサイクルランキングのトップクラスに入りうる（講師の提案）。

講演後、資源循環推進課から提供された「川越市のごみ・資源回収の現状」の資料に関して司会者の方から説明があった後、質疑応答が行われました。次のような多岐にわたる質問が出て、ごみ問題等に対する理解を深めました。

- ・宮代町でのホテルが減った原因は？ ⇒照明

(明かり)が原因。

- ・除草剤を使わないコメ作りでは収穫が減るが、よい対策はあるか？ ⇒草取りを頑張るしかない。
- ・プラスチックの劣化で、バージンとリサイクルで差があるか？ ⇒バージンが劣化しにくい。
- ・小金井市でのごみが少ない理由は？ ⇒市民の意識をためるべく行政が工夫をしている。ごみの有料化(値段を上げる)も一つの手段。
- ・宮代町での生ごみの堆肥化はどのように行っているか？ ⇒モデル地区で実施していたが、組合は解散した。臭いの問題とか、放射能の濃縮問題。最近、バイオマスガス化(発電も兼ねる)が多い。福岡県大木町では、下水汚泥と一緒に処理している。
- ・植木等のプランタプラスチックのリサイクルは可能か？ ⇒バイオプラスチックを用いる例もあるが、トウモロコシ等の食料を使うのは問題。また、劣化防止に使う添加剤の安全性の問題は残る。コストも高い。
- ・環境教育で若い人に興味を持ってもらうには？ヨーロッパに比べ、環境意識が低いので

は。

⇒ドイツでは環境は必須科目、日本では、総合学習があったときより後退している。出前授業活用の方法もある。

今回、初めての試みとして、YouTube を利用したオンライン講演の同時配信も行いましたが、画像・音声も良好に録画収録されました。下記 URL または QR コードでアクセスするか、YouTube で「かわごえ環境ネット環境講演会」を検索していただくと講演内容の録画が視聴できます。12月4日 2:30 現在で視聴回数は233回となっております。

今回の講演会の開催に際して、ご協力いただいた講師浅倉孝郎先生、オンライン配信にご尽力いただいた小瀬理事長、川越市・社会環境部会の関係者そしてコロナ禍の中、足を運んでいただいた参加者にこの場を借りまして感謝いたします。

(宮崎誠)



環境講演会「プラスチックごみはなぜ減らないのか～リサイクルと減量方法～」<https://youtu.be/-WlytPgCzS4>

【報告】会員の活動

【新会員】川越フォレストクラブ活動報告



参加したメンバー

10月5日、男性7名、女性1名、計8名の有志で設立した「川越フォレストクラブ」では、11月11日(水)に設立後初の森林保全再生活



活動の様子

動を、秋真っ盛りの晴天の中、「(仮称)川越市森林公園」計画地内において実施しました。

刈払い機3台、チェーンソー1台を導入して、

メンバー6人で農作物不法投棄の処理や園芸品、種植物などの処理を含めて、オカメザサを中心とした下草刈りを実施しました。同公園内では初めての活動につき、活動エリアの確認のため、活動前に川越市公園整備課職員2名に同行してもらい、メンバー全員で官民境界の目視確認をしました。

午前中だけの活動ではありましたが、森林保全再生活動は地道ですので、今後も息の長い活動が持続できるよう、無理なく、そして事故や

けが人も出さず、「楽しく来て、楽しく帰る」をモットーに、「かわごえ環境ネット自然環境部会」と連携してがんばりたいと思います。

なお、当クラブの形式は「来る人拒まず」型で、老若男女問わず、どなたでも気軽に参加できます。興味のある方は体験でもけっこうですので、森林保全再生活動を楽しんでみませんか？

問い合わせは賀登 (Tel.049-234-9366) までお願いします。 (沖本八十陽)

お米づくりはつらいよ?!

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ



コンバインでの稲刈り

話はまだ多少の残暑も感じられていた9月下旬にさかのぼります。

私たちが育てている無農薬無化学肥料の田んぼも収穫期を迎えました。「今年の出来はどうか?」。例年になく涼しい長梅雨から一転し、猛暑続きとなった今夏を乗り切ってくれた“愛しのお米たち”に期待もふくらみます。

今年はコロナ禍で体験イベントとしての稲刈りは中止となり、全てコンバインでの機械刈りとなりました。しかし・・・何という天のいたずらか! 稲刈りシーズンに入った途端、またまた雨と曇天模様の日々が続き、作業日程がどんどん遅れていきます。これだけ農業の機械化やIoT化が進んでいる世の中にあっても、ハウス栽培ができないお米作り作業はいつもお天気頼みです。

毎日、天気予報や空の様子とにらめっこしな



泥にはまったコンバインの救出作業

がらの稲刈り作業が始まるとまた新たな問題が!

雨水が抜けきっていない田んぼでは、あちこちに水たまりが点在しており、しばしばコンバインがはまってしまいます。そのたびにスコップでキャタピラー下の泥を掘り出したり、木板を差し込んだり、それでもダメならトラクターでけん引・・・と、その場の作業者を総動員しての救出作戦が始まります。他の田んぼでは順調に進んでいるのに何で?・・・とっていると、どうやら夏場の“中干し”と呼ばれる田んぼの水抜きが不十分で、土が軟らかすぎるのだとのベテラン農家さんのご指摘が・・・。2か月前の作業段取りの悪さが今ごろになって影響してくるとは!

こうして苦労の中、やっとこさ収穫できた今年のお米の収穫高はというと・・・、私たちが

管理している全8反で約1,500Kg(25俵)と昨年の2/3程度となる大幅減収でした。慣行農法では通常7~8俵/反は穫れるところ、私たちは約3俵/反と半分以下・・・トホホ(;´д`)。つくづく米作りの難しさを痛感し、米農家さんの日々のご苦勞に頭が下がる思いです。

でも、私たちは単にお米だけではなく、生きものにやさしい農法活動を通じてたくさんの田んぼの生きものを守ってきたという自負もあります！ 収量は少ないながら、お米の味も雑味がなくおいしいとの評判？です。プロ農家さん

のように上手に作業を回すことはなかなかできないですが、水辺の生きものを感じ、おいしいお米を味わうたびに、お米づくりの苦勞も吹っ飛んで「もっと来年はがんばろう！」と思えるから不思議です。

11月28日(土)にウエスタ川越にて、今年1年のお米づくりの振り返りと有機稲作農法の勉強会も行いました。みなさんも私たちとっしょにお米づくりの“辛さと喜び”を味わってみませんか？

(藤岡重歳)

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

11月18日(水)9:00-10:00に第7回事業運営委員会、10:00-12:10に第8回理事会を開催しました。両者は関連しているので、合わせて主要な事項を報告します。

①小江戸川越観光協会主催の「越えていこう、川越」のポスターについて

社会環境部会と自然環境部会でそれぞれ作成することにしました。今後、イベント等で掲示していく予定です。

②第19回かわごえ環境フォーラムについて

2月27日(土)に開催する「第19回かわごえ環境フォーラム」について、会場で実施する場合は、募集人数を50名とすることにしました(例年は同時に70名程度の参加があります)。なお、オンラインでの同時配信を予定しており、さらに、新型コロナウイルス感染症による社会情勢に応じて無観客でのオンライン配信や完全オンライン開催などの実施方法も検討することとしました。

本紙「トピック③」とホームページでお伝えしている通り、「かわごえ環境活動報告集」の投稿・発表申込期限を12月14日(月)まで延長いたしました。11月中に申込し逃した方は、投

稿とともにお申し込みください。

協賛金の申込状況を確認しました。また、午後の部の行事として、同日発行予定の「川越の自然(新訂版)」の概要説明と設立20周年記念出版講演、20周年の振り返りと10年後の2030年を語るディスカッションなどが提案されました。本紙1月号で詳細をお伝えする予定です。

③設立20周年記念出版について

寄付金の状況を確認しました。引き続き寄付金を募集しています。詳しくは本紙「トピック②」をご覧ください。

④歳末まち美化活動について

新型コロナウイルス感染症対策として、参加人数の上限を50名とすることとしました。また、今後の情勢を踏まえ、適宜対応することとしました。詳しくは本紙「トピック①」をご覧ください。

⑤会員動向

個人1名、団体1名が退会し、11月18日現在の会員数は、個人140、民間団体24、事業者25、行政1の合計190会員となりました。

(小瀬博之)

社会環境部会

11月の社会環境部会の例会は13日（金）福田ビル3階にて7名の参加で開催されました。

今回の例会では、降雨にもかかわらず多くの人の参加のあった「秋のクリーン活動」（10月17日（土））を振り返り、感想等を述べ合いました。また、12月20日（日）開催予定の「歳末まち美化活動」の企画内容について話し合いを行いました。

11月7日（土）に社会環境部会の主催で実施した環境講演会「プラスチックごみはなぜ減らないのか～リサイクルと減量方法～」(講師：浅倉孝郎氏)については、担当した宮崎さんから実施結果報告がありました。(本紙5～6面参照)

最後に、社会環境部会として取り組んでいく来年度の活動について、話し合いを行いました。

話し合いの中では、川越市で可燃ごみのうち紙類が50%も占めている現状についての意見が出されました。

なお、取組の参考として『県政出前講座』の制度の紹介がありました。これは、埼玉県が無料で県職員を講師として派遣しているもので、令和2年度は、保健・医療・福祉、環境、文化・スポーツ、教育・生涯学習、産業、まちづくり・農山村づくり、防犯、防災など、様々な課題が網羅されています。

中でも、環境の講座については「環境・緑・川・水辺」「動物・生き物・自然」「大気環境・温暖化」「廃棄物・リサイクル」など実に80ものテーマが設定されています。講座の実施などにより課題等を共有して今後の具体的な活動に有意義につなげていくこともよいのではないかと、この意見も出されました。

来年度活動案については今後、みんなで出し合いながら、例会でディスカッションして集約していく方向となりました。

(社会環境部会副代表 中村正幸)

自然環境部会

11月例会は13日（金）福田ビル3階にて9名の参加で開催されました。

1. 活動報告

①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動

10月12日（月）18名参加 ナラ枯れ被害木の調査

10月26日（月）21名参加 手入活動 東南最奥エリアの手入れ開始、センブリ、ノコンギクなど観察 11月9日（月）19名参加 手入活動、リンドウ、オオハナワラビなど観察 11月23日（月）17名参加 川越フォレストクラブと連動して活動する手入れ地の植物調査と林床片付け

②池辺公園定例活動 10月13日（火）10名参加 不法投棄ごみ収集、安比奈線方面植物調査

調査 11月10日（火）9名参加 ハグロソウのエリア草刈り

③「古谷湿地魚観察会」10月31日（日）環境政策課主催、本会協力 参加者15名

④ナラ枯れの現状について詳しく調査しているYさんからの報告と対策について

⑤「川越フォレストクラブ」の第1回の活動について（本紙6～7面参照）

⑥ヤマの野鳥—今福のヤマの10年—50種近い野鳥との出会いがあった

2. 協議事項

①ナラ枯れ被害木への対応について 調査やできる範囲の対処に協力する

②かわごえ環境フォーラム原稿の投稿について
(自然環境部会代表 賀登環)

予告の掲載に際して重要なお知らせ

新型コロナウイルスの感染状況により、かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、本会ホームページ (<https://kawagoekankyo.net>) でお伝えします。会員団体等の行事についても、情報が入ればホームページに掲載いたしますが、参加しようとする前に問い合わせ先にご確認ください。

【予告】かわごえ環境ネットのお知らせ・主催行事

【トピック①】歳末まち美化活動（12月20日実施、参加申込は12月17日まで）

川越「歳末まち美化活動」

参加者募集

開催日 2020年12月20日（日） 小雨決行・荒天中止

かわごえ環境ネットの年間行事の一環として続けている川越「歳末まち美化活動」を12月20日（日）に行います。本川越駅前交番横に集合し、市内中心部を各コースに分かれてごみ拾いをして回り、中央公民館前やウエスタ川越で分別します。

この活動は感染症対策対応で実施いたします。

- ①マスク着用
- ②参加者の体温測定の実施
- ③ソーシャルディスタンスの励行
- ④アルコール等を使用した消毒の実施

10:00 本川越駅前交番前に集合
各コースでゴミ拾いをして回る

11:30 中央公民館で分別作業
蓮馨寺で有志差入れの太めんやきそばを！
南行組はウエスタ川越で分別作業と美味しいパンを！

参加申込 環境部 環境政策課 ☎ 049-224-5866
申込 12月1日（火）午前10時～
当日は菊地 携帯 080-5546-2362
mail: kikums@beige.ocn.ne.jp

活動範囲
概ね点線枠内の主要道路を回ります





2019年歳末まち美化 今年はマスク着用で！



2020 かわごえ環境ネット
20周年 持続可能な地域づくりへ

主催 かわごえ環境ネット
事務局 川越市環境部環境政策課 ☎ 049-224-5866

2003年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動、18年目の今年は12月20日（日）10:00-12:00に実施します。

10:00に本川越駅前交番前に集合し、市内中心部から南北に10ぐらいのコースに分かれてごみ拾いをして回り、11:30に中央公民館前でごみ分別、その後蓮馨寺にて有志差し入れの川越名物「太麺焼きそば」を食べながら歓談します。

新型コロナウイルス感染対策として、定員を50名といたしました。また、①マスク着用（各自用意）、②参加者の体温測定、③ソーシャルディスタンスの励行、④アルコールを使用した手指消毒を実施いたします。

申込は12月17日（木）までをお願いいたします。

申込先： 渡辺利衛 Fax.049-242-4322
菊地三生 Tel.080-5546-2362

E-mail : kikums@beige.ocn.ne.jp

*当初予定していたウエスタ川越方面の南行組は諸事情により中止といたしました。

【トピック②】かわごえ環境ネット設立20周年記念誌「川越の自然（新訂版）」寄付のお願い

寄付の趣旨

川越市環境基本計画に基づき市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報共有や調整を図るための組織として2000年8月5日に設立されたかわごえ環境ネットは、今年度設立20周年を迎えました。これを記念する事業として、「川越の自然（新訂版）」の発行をめざして編集会議を開催し、検討を重ねているところで

ございます。

本が発行されましたら、市内の小中学校や公共施設に寄贈するとともに、自然に関心のある方などに有効活用していただきたく3,000冊作成する予定です。制作費は160万円を予定しており、サイサン環境保全基金から50万円の補助金をいただけることになりましたが、残りの110万円を準備しなくてはなりません。当初クラウドファンディングでの資金調達を考えておりました。しかし、このコロナ禍の中、多岐に

わたるクラウドファンディングの募集が増えている状況を鑑み、クラウドファンディングではなく、設立 10 周年記念誌と同様の寄付をお願いしますこととしました。寄付をしていただいた方は、あとがきに氏名を明記するとともに、本の贈呈をさせていただきます。

諸事情ご賢察のうえ、多数のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

かわごえ環境ネット

理事長・設立 20 周年記念事業実行委員会委員長 小瀬博之
 設立 20 周年記念事業実行委員会出版専門委員会委員長 賀登環

寄付の要項

1口 1,000 円で 1 冊贈呈 発行後 (2021 年 2 月を予定)、直接お渡しまたは郵送でお送りいたします。また、本に氏名を明記します。本への氏名の掲載のためには、1月15日(金)までに振込を完了している必要があります。

寄付の方法

2 つの方法を設けます。①かわごえ環境ネット主催行事 (会議、講演会、保全活動) などにおいて、本会の理事が寄付申込書 (会員には 11 月号とともにお送りします) と寄付金をお預かりします。②インターネットを通じた寄付を実施します。申し込みフォームに必要事項を記入していただくとともに、「PayPay」「d 払い」の送信機能 (手数料無料)「ゆうちょ銀行」の振替 (手数料送信者負担、ただしゆうちょダイレクトであれば月 5 回まで無料) で理事長の小瀬に送金を行っていただくことで手続きが完了します。詳しい方法は、本会設立 20 周年記念事業ホームページをご覧ください。



かわごえ環境ネット設立 20 周年記念事業
<https://20th.kawagoekankyo.net>

【NEW!】本の体裁・内容

前版は B6 版でしたが、新訂版は A5 版とな

り、フルカラー180 ページとなります。文章や写真、地図、データをかなりの部分で更新しています。また、新たに上空からの様子をドローンで撮影した画像で紹介しています。さらに自然での遊び方を紹介しています。

本紙表紙でも紹介していますが、見開きページの一部を紹介しします。また、目次 (予定) を紹介しします。



三ツ又沼ビオトープ (ドローン画像を盛り込みます)



新河岸川流域 (上流からの流域の様子を紹介しします) 目次 (予定)

1.川越のあらまし
川越の自然環境の特徴
川越の自然ポイントマップ
2.武蔵野の雑木林
「(仮称) 川越市森林公園」計画地
市民の森
ふるさとの緑の景観地
雑木林の遊びかた
3.川越の河川と沼
荒川、入間川、小畔川、新河岸川他
川の遊びかた
4.川越の公園と緑地
水上公園、なぐわし公園他
5.川越の湧水
6.社寺林・巨樹古木を訪ねて
7.生き物の調査記録
8.ミニ図鑑・統計

【トピック③】「かわごえ環境活動報告集」投稿・発表募集（12月14日まで申込延長）

2021年2月27日（土曜日）9:30-16:30にウェスタ川越（市民活動・生涯学習施設 会議室1・2）を会場として、かわごえ環境ネット設立20周年記念事業のメインイベント「第19回かわごえ環境フォーラム」（環境活動報告会と設立20周年記念シンポジウム）を開催します。

この行事によって、各々の環境活動と役割を相互に理解し、川越市の望ましい環境像実現のための取組がいつそう活発になることを期待します。開催にあたって、環境活動をされている個人・団体からの環境活動報告を広く募集します。個人・団体の年間の活動報告を冊子に集積して情報共有を図ります。みなさまの積極的な応募をお待ちしています。

投稿・発表申込期限を延長し、レポート投稿

期限と同じ12月14日（月）としました。申し忘れていた方はぜひご投稿ください。ご不明な点は、かわごえ環境ネット事務局（本行事専用のメールアドレスは19thforum@kawagoekankyo.net）までお問い合わせください。

募集要項は、かわごえ環境フォーラムホームページ（<https://forum.kawagoekankyo.net>）をご覧ください。



かわごえ環境フォーラム（<https://forum.kawagoekankyo.net>）
*新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会状況により、オンライン開催を含め、さまざまな開催方法を想定して計画しています。

【トピック④】「第19回かわごえ環境フォーラム」協賛のお願い

本会や会員の本年度の環境活動報告をまとめた「かわごえ環境活動報告集」を「第19回かわごえ環境フォーラム」開催に合わせて発行します。本報告集は毎回、費用の一部を本会会員の協賛金でまかなっております。ご協賛をぜひお願いいたします。ご協賛いただいた企業・団体は、環境活動報告集に協賛広告を、また、案内ちらしに協賛者の名前を掲載いたします。

本会会員事業者には、10月の郵送資料においてご案内を同封しております。会員外の事業者等からも協賛を募集します。12月14日（月）までに原稿とともに申し込みください。

詳しくは、かわごえ環境ネット事務局（川越市環境部環境政策課環境推進担当、Tel.049-224-5866、E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoie.saitama.jp）までお問い合わせください。

自然環境部会主催事業

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動（毎月第2・第4月曜日）

日時：12月14日（12月28日は休止）、1月11日・25日（月）9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福1295-2）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動（毎月第2火曜日、変更の場合もあります）

日時：12月8日・1月12日（火）
9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺1302）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

会合

◆設立 20 周年記念事業実行委員会出版専門委員会 (第 14・15 回)

日時：12月9日・16日(水) 13:30-15:30
場所：川越南文化会館(ジョイフル)

●社会環境部会(2020年12月度)

日時：12月11日(金) 13:00-15:00
場所：福田ビル3階会議室(川越市郭町1-2-3)
*次回は1月8日(金) 13:00-15:00 同所

●自然環境部会(2020年12月度)

日時：12月11日(金) 15:00-17:00
場所：福田ビル3階会議室
*次回は1月8日(金) 15:00-17:00 同所
*会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会(2020年度第8回)

日時：12月16日(水) 9:00-10:00
場所：福田ビル3階会議室
*次回は1月20日(水) 9:00-10:00 同所

◆理事会(2020年度第9回)

日時：12月16日(水) 10:00-12:00
場所：福田ビル3階会議室
次回は1月20日(水) 10:00-12:00 同所

◆広報委員会(2021年1月度)

日時：1月6日(水) 9:00-9:30
オンラインミーティング(委員には別途案内)
*次回は2月3日(水) 9:00-9:30 オンラインミーティング

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

当会では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して環境にやさしいお米作りをしながら田園風景の保全や地域づくりを行っています。入会は随時受け付けております。hatsukarinosato@googlegroups.com にお問い合わせください。



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

◎マコモの葉でドンド焼き

日時：1月10日(日) 10:00-12:00

場所：マコモ田んぼ(川越市福田)

主催：山田田園環境保全推進グループ

協力：かわごえ里山イニシアチブ

マコモの枯葉集め農作業後、焚火で焼き芋や本格的な繭玉作りなど、今では珍しいドンド焼きの伝統行事を復活させます。

◎田んぼ懇談会

日時：1月23日(土) 16:00-18:00

場所：ウエスタ川越 南公民館(予定)

定員：15名限定

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛 (Tel&Fax.049-242-4322)・武田侃蔵 (Tel.090-2521-5770)

◎「やめましょう!歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3金曜日

日時：12月18日(金)・1月5日(火)・15日

(金) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：12月13日・1月10日(日) 9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、

中央公民館でごみまとめ、解散。

③第4土曜日

日時：12月26日・1月23日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9:00より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、

実施日の3日前までに武田（090-2521-5770）へご連絡ください。

①12月27日（日）9:00-11:00 新河岸川下流域。旭橋右岸集合。上流新扇橋まで、下流川崎橋まで。旭橋左岸空き地に分別収集解散。

②1月24日（日）9:00-11:00 新河岸川上流域。観音下橋横集合。黄金橋まで両岸清掃。指定された収集場所で分別まとめて解散。

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環（Tel. 049-234-9366）

当会では、小畔川の八幡橋下流域の定点調査を中心に魚類や水生昆虫などの調査を続けています。いつも何かしら発見があり面白いです。

12月は川歩きです。来年は4月から開始です。

◎南小畔川源流歩き

日時：12月20日（日）10:00-12:00

松岡壽賀子（社会環境部会）

問い合わせ：高階南公民館（Tel.049-245-3581）

◎かんきょうサロン（健康と環境とお財布にやさしい生活術）

会場：高階南公民館 1階（川越市藤原町 23-7）

参加費：無料

日時：12月8日（火）10:00-12:00

テーマ：ガス料金等について

公共料金---電気代や水道料金の節約についての話をしています。

持ち物：直近2~3か月分の電気・ガス・水道の料金票

マイ箸袋作成

森林破壊を止めるためにも箸袋を作っています。

持ち物：25cm四方の布またはハンカチ、裁縫道具

東洋大学小瀬研究室（川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

こもれびの森・里山支援隊 <http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

【おことわり】東洋大学では「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東洋大学行動指針」を定めており、12月4日現在も「レベル2」として、対面での課外活動は原則活動禁止となっています。つきましては、秋学期中は当面活動を休止します。

*緊急事態宣言解除後における本学の基本方針 <https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/news/top/202006051830/>

*Webサイト（組織概要・東洋大学「こもれび

の森」植物図鑑ダウンロードなど）

<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

*Facebook ページ（最新の活動報告）

<https://www.facebook.com/komorebisatoyama>

*Twitter（中止連絡などの緊急告知）

<https://twitter.com/toyokomorebi>



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部
問い合わせ：内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

◎伊佐沼でバードウォッチング

(毎月第2日曜日、雨天中止)

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや
持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物
参加費：一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

①12月13日(日) 10:00-12:00

カモのオスがお化粧してお相手を探していま

す。きれいな羽を観察します。キタミソウの花が咲いているでしょう。

②1月10日(日) 10:00-12:00

毎年行う、ガンカモ調査の日です。長年続けることで、環境の変化がわかります。あなたも参加してください。

広報委員会からのお知らせ

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2021年1月号(No.171, 12月25日発行予定)の掲載原稿は、12月15日(金)締切(必着)です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出してください。

★かわごえ環境ネット Web サイト

本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。



<https://kawagoekankyo.net>

★かわごえ環境ネットソーシャルメディア

①Twitter

本会 Twitter (@kawagoekankyo) は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。



<https://twitter.com/kawagoekankyo>

②Facebook ページ

本会は、Facebook でも積極的に情報発信して

います。かわごえ環境ネットからのお知らせだけでなく、イベント等の報告も逐次行っています。本紙で掲載されない速報もあります。Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を行って「いいね!」してください。



<https://www.facebook.com/kawagoekankyonet>

③【NEW!】YouTube チャンネル

アースデイ川越 in 昭和の街 2020 でのオンラインワークショップと、環境講演会のオンライン同時配信をきっかけに、かわごえ環境ネット YouTube チャンネルを作りました。ぜひチャンネル登録をお願いします。



かわごえ環境ネット YouTube チャンネル

○おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（12月6日～1月27日）

新型コロナウイルスの感染状況によりかわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、情報が入り次第本会ホームページでお伝えします。会員団体等の行事は主催者にご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
12.6 ◎14:00 川越八幡宮でお正月飾りづくり（申込締切）	12.7	12.8 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎10:00 かんきょうサロン	12.9 ◆13:30 設立20周年記念出版委員会	12.10	12.11 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	12.12
12.13 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング	12.14 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動 ○環境活動報告申込・レポート投稿期限 ○かわごえ環境フォーラム協賛期限	12.15 ○本紙1月号投稿期限	12.16 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会 ◆13:30 設立20周年記念出版委員会	12.17 ○歳末まち美化活動申込期限	12.18 ◎13:30 まち美化啓発運動	12.19
12.20 ★10:00 歳末まち美化活動 ◎10:00 南小畔川源流歩き	12.21	12.22	12.23	12.24	12.25	12.26 ◎13:30 まち美化啓発運動
12.27 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	12.28	12.29	12.30	12.31	1.1 元日	1.2
1.3	1.4	1.5 ◎13:30 まち美化啓発運動	1.6 ◆9:00 広報委員会	1.7	1.8 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	1.9
1.10 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング ◎10:00 マコモの葉でドンド焼き	1.11 成人の日 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	1.12 ★9:00 池辺公園定例活動	1.13	1.14	1.15 ◎13:30 まち美化啓発運動 ○本紙2月号投稿期限 ○川越の自然寄付期限	1.16
1.17	1.18	1.19	1.20 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	1.21	1.22	1.23 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:00 田んぼ懇談会
1.24 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	1.25 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	1.26	1.27	★：会員内外対象の公開・出展イベント ●：会員全員が対象の部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください		

月刊 かわごえ環境ネット 2020年12月号 No.170

発行日 2020年12月5日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net/>